

～臨床情報・検体の研究利用に関するお願い～

研究課題名：透析前低カリウム血症に対する透析中のカリウム補正の検討

研究機関名：日産厚生会玉川病院

研究責任者：透析センター 職位・氏名：センター長 今村吉彦

【研究の目的】

血液検査で得られるカリウム値は心筋の興奮に深くかかわるため、狭い範囲に管理されています。カリウムは尿中に排泄されるため腎機能が悪化すると、カリウム値が高くなり危険な不整脈が起こりやすくなります。また血液透析療法では、この高いカリウム値を下げることはできますが、下がりすぎてしまう危険もあります。もし下がりすぎる危険があるならば、下がらないように工夫する必要がありますが、その手法については明確な基準がありません。私どもは先行研究において、透析前カリウム値が 4.2mEq/L 未満の場合に、透析後に低カリウム血症をきたしやすいことを見出しました。

そこで本研究では、過去のデータを用いて、透析前カリウム値が 4.2mEq/L 未満の場合、カリウム補正方法の違いが、透析後の低カリウム血症の発生頻度に与える影響について検討することを目的としています。具体的には、透析中にカリウムを補充する方法と、透析液のカリウム濃度が高い場合のどちらが透析後の低カリウム血症を来し難いかを検討しようと思います。本研究の成果は、今後の透析診療における血清カリウム値の管理の改善につながる可能性が高いと思います。ぜひご協力ください。

【研究対象および方法】

この研究は、(日産厚生会玉川病院)倫理委員会の承認を得て実施するものです。

対象者：2018年1月1日より2022年6月30日までに日産厚生会玉川病院において外来および入院血液透析治療を行った患者様を対象とします。この間に透析治療をした方は300名ほどとなり、対象者に該当します。

方法：診療録(カルテ)から抽出したデータを解析します。

【研究に用いられる試料・情報】

情報：病歴、診療の治療歴、各種検査結果など

【研究組織】

当院のみで行う研究です。

代表施設名：日産厚生会玉川病院

研究代表医師：今村吉彦 役職：透析センター長

【個人情報について】

研究に利用する情報は、患者様のお名前、住所など、個人を特定できる個人情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できるような情報を利用することはありません。

本研究に関してご質問のある方、診療情報等を研究に利用することを承諾されない方は、下記までご連絡下さい。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。また対象者の意思表示が困難な場合は、親族の方、あるいはそれに準ずる方を代諾者として下記までご連絡いただきたく思います。

【連絡先および担当者】

日産厚生会玉川病院 透析センター

職位・氏名 センター長 今村吉彦

電話 03-3700-1151 内線 5110